

浜松 遠州

まちトピ

少数民族の生活紹介 区

静岡文化芸術大 渡部さんが講話 中
芸術大

静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生団体で、バングラデシュの少数民族支援に取り組む「ちえれめいえプロジェクト」の渡部清花代表(23)が文化政策学部4年11は15日、同区の通信制高校「第一学院高浜松キャンパス」の「夢授業」で講話し、現地での支援状況などを

を生徒に語った。

渡部代表は今年3月まで1年間、バングラデシュ南東地域のチッタゴン丘陵地帯の寄宿舎学校の日本語教師を務めた。この日は「同じ地球に生きる人々の

ことを考える第一歩の日に」と題してバングラデシュでの経験を披露し、現地の少数民族の暮らしを紹介した。「現地の生活には、地域間のつながりなど日本が失ってしまった

豊かさがあった」と話す渡部さんは「国際協力とは一方的に助けるのではなく、共に生き、学ぶものだと思う」とまとめた。

夢授業は同校が外部講師を招いて開く特別授業で、同校の生徒ら20人が受講した。角貝文幸君(16)は「中心部と地方の貧富の差に、一つの国なのに同じ国でないような違和感を覚えた」と話した。



バングラデシュの少数民族について話す渡部さん＝浜松市中区の第一学院高浜松キャンパス